

第8回 あまくさ創生実践会議 会議録（概略版）

日 時	平成28年2月17日（水）13：30～16：10
場 所	天草宝島国際交流会館ポルト 3階 多目的ホール
出 席 者	別紙1「あまくさ創生実践会議 委員出欠表」のとおり
議 題	(1) 前回会議録の承認について (2) パブリック・コメントについて (3) 人口ビジョン（素案）について (4) 総合戦略（素案）について (5) その他
資 料	≪事前配布資料≫ ・第8回あまくさ創生実践会議 次第 ・第7回あまくさ創生実践会議 会議録（概要版） ・人口ビジョン（素案）、総合戦略（素案） ≪当日配布資料≫ ・人口ビジョン及び総合戦略の素案に関するパブリック・コメントについて ・人口ビジョン及び総合戦略の素案に対する意見一覧 ・天草市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」の全体像（案） ・「平成28年度 あまくさ創生実践会議に向けて」（提案様式） ・Ama-biz（アマビズ）関連資料（PP資料）

議題（1）前回会議録の承認について

会 長：第7回の議事録の承認について、事務局から説明をお願いする。

事務局：事務局より説明。修正等の必要があれば、事務局への報告をお願いしたい。

会 長：何かあれば事務局へ伝えてください。

議題（2）パブリック・コメントについて

会 長：パブリック・コメントについて、事務局から説明をお願いする。

事務局：人口ビジョン及び総合戦略の素案に関する意見について、件数・内容及び対応について説明。

会 長：委員の皆様から何かございましたら、ご指摘をお願いします。

委 員：意見提出者と市の回答において、ずれがあり対話になっていないことが多い。あまくさ創生実践会議において、意見提出者の話を聞いてみて、すり合わせ、考えてみるのもいいのではないかと。

会 長：パブリック・コメントの中で、対話をしていくことは難しいのではないかと。提出された意見に対して、きちんと回答していくことが重要である。市として市民との対話の設計が、パブリック・コメントに偏っているため、もう少し考えた方がよい。市として、参画のスタイルが足

りないが、何かアイデアはあるか。

そこで、私から質問するが、総合戦略ができた後にどのような発信をされていくのか。

事務局：従来のように、市のホームページにおいて公表する。また、各支所、コミュニティセンター、そして市民が集まる公共施設において、紙媒体で公表したいと考えている。

また、市民から要望があれば、出前講座などで発信していくことも可能であり、他にも何らかの方法があるのか検討していきたい。

委員：総合戦略の意見3で、戦略と総合計画の関係についての質問があっているが、回答についてもう少し深く説明していただきたい。

事務局：総合戦略の3頁目になるが、関係図を掲載している。意見としては、総合計画と統合した方が良いということだが、市の最上位計画は総合計画であり、基本計画と総合戦略の整合性を図りながら連携をとって進めていく。総合計画についても、必要に応じて改定していくこととしている。

委員：戦略と総合計画の関係だが、具体的に何をするのかわからないということではないか。細かい政策は書いてあるが、戦略についての具体的な項目がないと見られているのではないか。参加していて、いまだにわからない。

会長：総合計画と総合戦略の位置付けに関して、総合戦略の内容を総合計画に反映するという観点を、回答の中に加えていただきたい。

他に、いかがでしょうか。

委員：(発言なし)

会長：では、何かありましたら、その他のところでも構いませんので、ご発言ください。

議題(3) 人口ビジョン(素案)について

会長：人口ビジョン(素案)について、事務局から説明をお願いします。

事務局：前回からの変更点について、資料「人口ビジョン(素案)」に基づき説明。

会長：委員の皆様から、ご意見をいただきたい。

委員：21頁の目指すべき将来の方向が、「(1)都市部への人口流出に歯止めをかける」となっているが、内容的には都市部への流出という意味合いではないので書きぶりを変えるか、「人口減少に歯止めをかける」としてはいかがか。

事務局：内容について確認すると、ご指摘のとおり自然増減の説明のみで社会増減の説明がない。内容と項目(タイトル)も含め、検討させていただきたい。

会長：他に、いかがでしょうか。

委員：(発言なし)

会長：いったん、総合戦略の協議に進みますが、人口ビジョンも関係がありますので、何かお気づきの点がありましたら、その際にご発言ください。

議題(4) 総合戦略(素案)について

会長：総合戦略(素案)について、事務局から説明をお願いします。

事務局：前回からの変更点について、資料「総合戦略（素案）」に基づき説明。

また、前回会議において戦略をしぼった方が良いということだったが、本市の人口減少は社会増減の影響が強いことが人口ビジョンから伺える。そして、高校生アンケートにおいて、本市に不足しているものに「働く場所がない」ということが第2位に挙げられている。したがって、「しごと」、いわゆる雇用創出に力を入れるべきであることから、地方創生の先行型交付金の「起業・創業の支援」、次に上乗せ交付金の「物産公社設立による天草産品の販路拡大」を国に対し事業申請をした。

さらに、本市の既存統計による産業連関分析において、域外収支が黒字である第一次産業の成長産業化、そして宿泊業をはじめとする観光の成長産業化、併せて観光と他産業との連携等については加速化交付金に申請しているDMOにより取り組むこととしており、基本目標1については4つの具体的な施策としている。

そして、移住についても、現在、天草市への移住者も増えているので、今以上に積極的に取り組んでいくということで、移住希望者の問合せや要望等にワンストップで対応できるサポートセンターの設立を目指し、加速化交付金に申請をしたところである。

この様な施策を講じながら本市の創生を進めていき、子育てと仕事を両立できるサービスの向上を図り、子育て世代の就業率を上げ出生率の目標値を目指していく。

最後に、市民が安心して暮らせる地域づくりの取り組みも進めながら、「しごと」と「ひと」の好循環につなげていきたい。

会長：それでは、委員の皆様のご意見はございませんか。

委員：前回会議時に他地域の総合戦略と比較してはどうかと言ったが、基本目標1の施策は天草市以外のどこでもやっていることで、同じようなことをやっていると勝てない。天草をどうしていきたいのか描けてない段階で話をしても、どのような方法で持っていきたいのかわからない。例えば、観光ではサンタクロースをクローズアップしているのであれば、サンタクロースを軸にした島づくりをやる。飲食業もサンタクロース料理を年中出すとか、市役所職員も全員サンタビズで仕事をやるなど、これが戦略に基づいた戦術である。戦略というものは、市民全員が共有してはじめて達成できる。また、皆で一緒に考えて、どこに向かっていくのか。そこを皆で議論していると思って会議に出席していたが、根本的なところの議論ができないで、各論だけされているので、時間をかけている割には最初の会議から一步も進んでいないという感じがする。どういう選択肢があるかを全て出した上で、何を柱にすれば伸びるのか。そこで、強い、弱いが見えてくると思うがいかがか。

また、総合戦略の基本的な考え方の直後に、1頁でわかる全体像の文章が必要だと思う。基本目標の基になるものがない。大きなビジョン、戦略があって、目標を立てるのであり、いきなり目標から入っている。何のために、どこに向かっていくのかわからない。そのための戦略を出してくださいという話をしたつもりだが。

委員：どういう島にしたいのかという最終イメージがなく、総合戦略で市民にこれしますと言っても理解してもらえないのではないか。総合戦略の戦略、戦術が向かう先、天草市をどういう島にしたいのかというイメージ的なゴールとか目標があれば、教えていただきたい。

- 事務局：どのような島にしたいのかというのは、以前お配りした総合計画において、お示ししている。その関係で総合戦略の3頁にも、総合計画と総合戦略との関係も出している。今回の総合戦略は、人口減少に歯止めをかけるために、何を優先的にやるのかというのを人口ビジョンから分析して、策定するものである。天草市の人口減少の一番の要因は、社会増減である。それを、解決するためには、高校生アンケートにもあるように「天草には働く場所がない」ということであるから、「しごと」の部分に力を入れるということである。
- 会長：人口減少に歯止めをかけるということを言ってきているが、総合戦略という言葉が重いので、それが伝わらなくなってきている。天草は、歯止めをかけるためには、特にしごとであるとのロジックを立て、それを説明しましょう。だから、先ほどからサマリー（長い文章や大規模なデータなどを集計や要約したもの（概略、集約。）をとか言っていますが、それを伝える資料をつくりましょうというのが論点です。
- 委員：人口減少に歯止めをかけるため、どういう総合戦略を立てるかというところの中間ぐらいに目標があれば、総合戦略ができた時に全国に取り上げてもらえ、市民に理解してもらえるような指標があれば良いと思う。天草の子どもたちが、進学は別として、島内に卒業生が100%就職する島を目指すということを打ち出すと、賛同も得やすく、事業も組み立てやすいのかなと思うし、「しごと」がないなら、「しごと」をつくり、同じ職種で給料が低いのであれば、それをどうにかするというので、取り組みも注目されると思うので提案したい。
- 委員：人口ビジョンから始まり、その中でどういう課題があるのかを、皆さんで精査したはずである。それに基づいて、3つ方向性が天草に合うのではないかとということであった。その中で、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環にするため、基礎となる「まち」もつくらなくてはいけないという共通理解をして、4つの基本目標を掲げ、ストーリーは流れているのかなと思う。詳細の部分については、いろいろなご意見があると思うが、良い論議もできているし、良い方向性をつかんでいるので、あとはアクションプランの中で位置づけることもあるし、この方向性で論議していただければと思う。
- 委員：先ほどから、「しごと」の雇用の創出の話が出ているが、農林水産業に関して農業・林業・水産業では方向性がまったく違うと思う。一括りになっており、具体的に書いてある所もあれば、それぞれの方向性や重点的に取り組むことなど、この資料では見受けられない。
- 委員：雇用が天草の大きな柱になるとすれば、基本目標についても見直して、中身をもう少し入れた方がいい。基本目標1の数値目標も雇用者数となっているが、単純な雇用よりも天草は事業者数が多いので、「しごと」の種類が多い地域だと思う。多様な「しごと」ができるということで、事業者が元気な島の方が明確である。基本目標2のひとの流れでも、どういう人に来てほしいのか。天草は、実際に「しごと」もあり、やってない「しごと」もあるので、自分で「しごと」をつくれる人を獲得する目標にした方がいい。また、基本目標3についても、子育て世代の女性の就業率は高いので、働き方のリノベーション、新しい就業形態を取り入れることで、若い世代が働き続けられる。それが結果として、子育てにつながるのではないかと。そして、基本目標4は漠然としているので、どういうイメージかわからない。市民の誇りは何なのか、もう少し議論を深めた方がいい。
- 委員：基本目標に天草らしさ（魂）を入れるということで、言葉としてはわかるが、どう盛り込む

かという点では結論としてなかなか難しい。「ひと」の流れにしても、観光のファンドの話があったが、全体を対象にしないとファンドを活かす効果は薄い。

委員：天草は経営者の方が多いが、成功されている方は将来展望を明確にお持ちで、具現化するために独自で販路開拓などをされている。基本目標1では、個々の経営者の方が明確なビジョンを持って、従業員もいらっしゃるので将来展望を描くことは大事。金融機関も、フルに活用していただきたい。

委員：フレーズに数字を入れることが、いまいかかわからないが、目標の後に数値目標があるのであれば、数値目標を基本目標の中に入れた方が分かりやすい。

委員：この総合戦略を策定した後、交付金事業も関係してくるので、その際に記載箇所などの対応できるような形でなくてはならない。国に出す場合に困ってしまうこともあるので、その辺も考慮すべきではないか。

委員：もう一つ天草の特徴として挙げた方が良いのは、魚だけでなく食べ物が美味しいこと。大きな方向性として、日本一の美食の島を目指すということで食を軸に基本目標を組み立てていく。例えば、天草は漁船がメインで食べ物を獲る「しごと」を支える船舶業、食べ物を食べるための建物、そこにつながる道路を造る建設業など、全部を美食につなげていく大きなスローガンを掲げて皆で走っていけば、非常に動きやすい。

事務局：基本目標の1から4までであるが、実現に向けた個別の施策ということで基本的方向を述べている。基本目標1では、基本的方向に対応する形で4つの具体的な施策を立てる組み立て方になっているが、この辺の中で今までいただいたご意見を含めて、内容に盛り込むなどの検討はできると考えている。また、4頁に人口ビジョンからの流れを少し説明しているが、基本目標の設定までの説明としては足りなかったため、見直して補足したい。

委員：天草を支える産業だと、広義にとらえると全ての産業として考えられる。狭義の観点からいくと、稼ぐ力がある業種であると捉えられる。その辺を考えると、総合戦略の全体像の中に主な施策があるが、この辺で基本目標1の部分の具体的な業種を盛り込んで、天草を支える産業の発展として捉えればいいのではないかと。高校生アンケートのどのような職に就きたいかという自分の将来像では、「医師・看護師・薬剤師」の希望が多く、今天草で一番稼ぐ力のある「漁業・水産業」は希望している子が少ないので、その辺を踏まえるとどの「しごと」にウェイトを置くかとなると、持続可能な「しごと」として絞り難い。主な施策の中で、4年間どうやっていくかという部分と、そして将来的な長期計画の中で変更できるのであれば、変えていく必要があるのではないかと。

会長：それでは、基本目標については、修正も可能であればお願いしたい。委員の皆様には、意見等の追加がありましたら、来週の月曜日までに事務局まで連絡いただきたい。そして、今日の議論とそれを踏まえて事務局で修正した素案を送っていただき、それに関して何か意見等があれば出していただきたい。

議題(5) その他

①Ama-biz (以下、「アマビズ」という。) について

会長：それでは、その他に入りますが、前回の宿題であった天草市の総合戦略において、天草市の

創生に向けてのリーディングプロジェクトである先行型交付金事業がアマビズです。基本目標1の施策の一つであり、創業支援の大きな役割を持っています。総合戦略の中でどうなっていくのか重要な観点ですので、アマビズに関して確認する意味で説明していただきたい。

委員：アマビズ関連資料に基づき開所までの経緯、相談体制、相談状況・内容などを説明

委員：2頁の事業所数について、H24で5,111事業所であるが、今の天草税務署管内の所轄法人数は約1,900法人となっており、この中の一割は事業をやっていない休眠している事業所である。地方創生の中で元気な事業所が出てくれば、天草も良くなってくるのかなと思う。

②平成28年度 あまくさ創生実践会議に向けて（提案様式）

会長：では、提案様式のフォーマットについて、事務局から説明をお願いします。

事務局：平成28年度において、総合戦略の重要業績評価指標（KPI）などの評価・検証をしていく中で、事業提案や意見等を受け付ける旨を説明。

会長：他に何かございますか。

事務局：あまくさ創生実践会議が設立された際、人口ビジョンと総合戦略を策定するだけでなく、施策の展開に係るKPI指標もあるので、実践会議としてどう動いていくのかということも平成28年度の中で確認をさせていただく組織として考えている。その辺については、平成27年度は先行型、上乗せ、そして平成28年度において加速化交付金を受けるように取り組んでいる。それとは別に、新型交付金を利用しながら、総合戦略の政策の具体化に向けて取り組んでいくこととしているので、平成28年度においても時期を見ながら実践会議を開催したいと考えているので、よろしく願いたい。

また、本日の会議が、本年度の最後の開催となる。人口ビジョン及び総合戦略の策定については、5月21日に第1回目の会議を開催させていただき、本日で8回目の開催となった。委員の皆様には、大変お忙しい中にご出席いただき、天草の創生に向けて貴重なご意見をいただいたところである。皆様のご意見を踏まえ、今後は創生本部において人口ビジョン及び総合戦略を成案化していく。策定が重要ではなく、いかに動かして行くかが大事であるので、総合戦略の推進にあたっては皆様方のご尽力をお願いします。今後とも、天草市の総合戦略に掲げる目標を達成するために、ご協力をいただきたい。

会長：それでは、本年度のあまくさ創生実践会議を閉会させていただく。皆様、ありがとうございました。

（以上）

あまくさ創生実践会議 委員名簿					
H28.1.20 現在(順不同)					
		所属	役職	氏名	備考
1	会長	慶應義塾大学	教授	タムムラ マサトシ 玉村 雅敏	
2	副会長	天草市まちづくり協議会連絡会	会長	ナカガワ タケハル 中川 竹治	
3	委員	本渡五和農業協同組合	代表理事常務	ユ スキ アキオ 湯賞 秋男	
4	委員	あまくさ農業協同組合 指導販売部	果樹園芸課長	ゴトウ ノブユキ 五嶋 伸幸	欠席
5	委員	天草地域森林組合	代表理事専務	カワチ コウイチ 河内 公一	
6	委員	天草漁業協同組合	総務課長	ウエダ コウイチロウ 植田 弘一郎	欠席
7	委員	(一社)天草宝島観光協会	事務局長	イワミ リュウジロウ 岩見 龍二郎	欠席
8	委員	天草市起業創業・中小企業支援センター	センター長	ノマ ヒデキ 野間 英樹	
9	委員	天草経済開発同友会	委員長	ヤマモト ヒロシ 山本 博	
10	委員	(一社)天草本渡青年会議所	副理事長	ワタナベ ヒロキ 渡邊 弘樹	
11	委員	牛深青年会議所	理事長	ニシオカ カツタロウ 西岡 勝太郎	
12	委員	本渡商工会議所	事務局長	ホリタ ショウジ 堀田 照二	
13	委員	牛深商工会議所	常議員	エザキ タカシ 江崎 孝	欠席
14	委員	天草市商工会	経営指導員	マツモト トシユキ 松本 利幸	欠席
15	委員	天草市保育所連盟	会長	スサキ トヨ ヒロ 洲崎 豊裕	欠席
16	委員	天草市県立学校長会	代表	マエダ ミチハル 前田 三千治	
17	委員	連合熊本天草宇城上益城 地域協議会天草地区連絡会	幹事	ミヤザキ エイジ 宮崎 英治	
18	委員	天草市社会福祉協議会	本渡支所長	ハスイケ ミチヨ 蓮池 美智代	欠席
19	委員	NPO法人子育てネットワークわ・わ・わ	理事長	サワダ フクミ 澤田 福美	欠席
20	委員	天草お産路	代表	ナカバヤシ マドカ 中林 円	欠席
21	委員	肥後銀行 天草支店	支店長	ヨコセ ヒデオ 横瀬 英夫	
22	委員	熊本銀行 天草支店	支店長	イチグチ カツヤ 一口 勝也	
23	委員	天草信用金庫 地域創生室	理事	ワタナベ カズナリ 渡邊 一成	
24	委員	天草広域本部	総務部長	ハジメ キミオ 一 喜美男	欠席 (代理出席)
25	委員	天草市地域振興部地域政策課	課長	スガワラ ヒロ アキ 菅原 弘晃	
26	委員	天草市健康福祉部健康福祉政策課	課長	イセ ザキ ユウキ 伊勢崎 裕樹	欠席
27	委員	天草市経済部産業政策課	課長	オオタ ヤスト 大田 安人	
28	委員	天草市観光文化部観光振興課	課長	ワタナベ ヒデト 渡邊 英人	
29	委員	天草市教育部教育総務課	課長	ヤマナ スナオ 山名 直	
		天草市総合政策部	部長	カネコ マサヒデ 金子 正秀	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長	シオサキ トシヒコ 塩先 敏彦	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	課長補佐	ヒラヤマ タカヒロ 平山 高広	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	参事	カドグチ トオル 門口 徹	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ムカエダ マサタカ 向田 正隆	
	事務局	天草市総合政策部政策企画課	主査	ナカガワ ジュンコ 中川 淳子	